



# 火気使用作業許可証キット

ろう付け、切断、研磨、はんだ付け、トーチランプによる屋根工事、溶接など、裸火を使用する、または、熱・火花が生じる作業を行う場合は、火気使用作業許可証が必要です。

## 新規許可証

使用していない許可証はすべて、下のポケットに保管します。

## 使用済み許可証の保管

使用済みの許可証はすべて、監査や点検ができるよう、所定の場所に保管してください。許可証の2枚とも必ず保管してください。

## 許可証の再注文

許可証は、スイス損害保険会社のリスクエンジニア、アンダーライター、または保険ブローカーを通じて再注文できます。

## 許可証が緊急に必要な場合

スイス損害保険会社のリスクエンジニアまたはアンダーライターを通じ、当社のデジタルコピーから、許可証のコピーを印刷します。

## デジタル許可証の印刷方法

許可証のページ全体を標準的な用紙に印刷します。印刷した許可証を、示されている線に沿って、ふたつ折りにし、ふたつに切り離します。

デジタル許可証にはカーボンコピー機能がないため、すべての記載事項を許可証の両方に確実に転記するようにしてください。

有効な許可証：許可証が下部に収められている場合、火気使用作業を実施しているため、すべての予防措置が講じられていなければなりません。また、消防設備が稼働中であり、火気監視員が監視を実施し、使用可能な消火器が用意されていなければなりません。

## 許可証の発行

火気使用作業の許可証発行者のみが許可証を発行することができます。以下の手順に従ってください：

- 新規許可証を用意し、全項目を記入します。
- 許可証を有効にするすべての予防措置を現場で確認します。
- 許可証を切り離し、許可証の1枚目を下のポケットに入れます。
- 火気使用作業区域に、許可証の2枚目を掲示します。

## 火気監視と定期モニタリング

火気監視は、火気使用作業中、休憩中、作業後のすべてで必要です。その後、定期モニタリング時間を設け、再着火やくすぶりの可能性がないかチェックする必要があります。

火気監視時間は、最低60分間とします。適切な定期モニタリング時間を決定するためには、リスク評価が必要です。下表をご参照ください。

## 火気使用作業区域

火気使用作業場所から半径10mの範囲は、非常に重要な区域です。作業開始前に、すべての可燃物、引火性液体、爆発性雰囲気を実際に取り除くことが重要です。

## 使用環境に対する考慮

許可証を屋外または湿度の高い環境で使用する場合、許可証をプラスチックのカバーまたはホルダーに封入し、作業区域に掲示します。